

# 経営比較分析表／団体全体（平成30年度決算）

佐賀県 武雄市

【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	2,325	極小規模	1	122
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	95.3	3	200	非設置	

## グラフ凡例

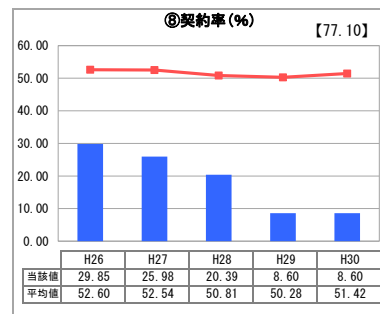
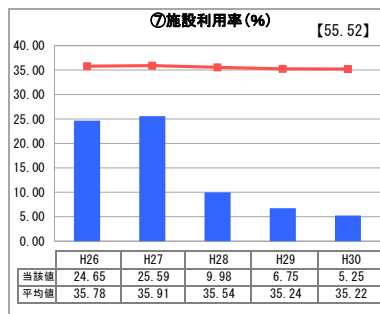
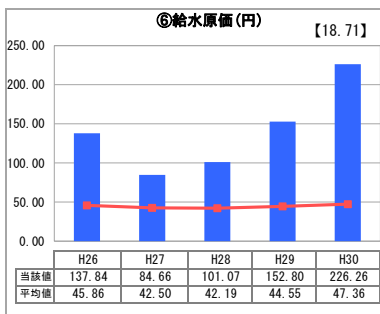
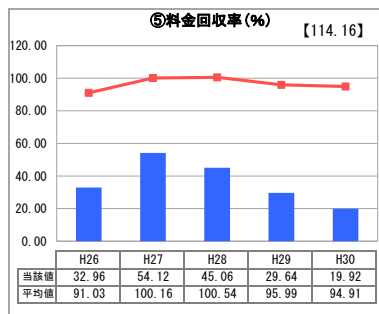
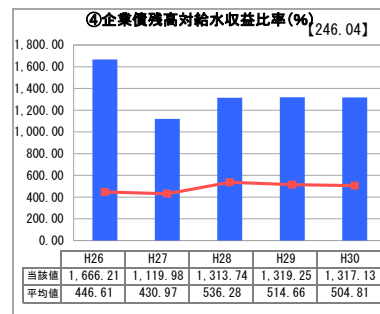
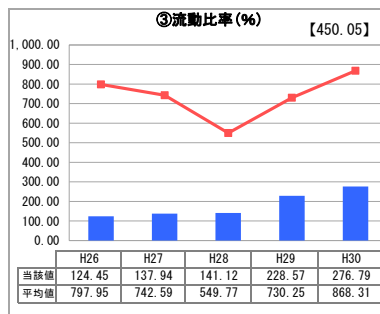
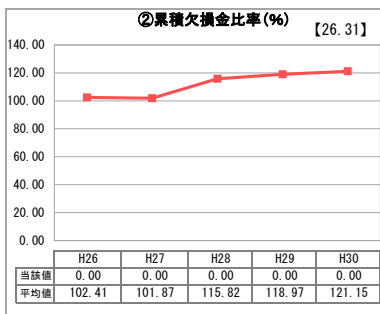
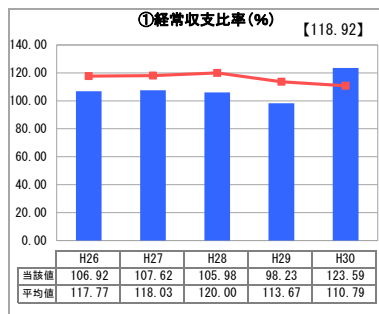
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

現在、本事業は料金収入だけでは事業経費を賄えない状況であり、一般会計からの繰入を受けながら経営を行っている。また、契約率が低く契約水量・有収水量も小さいため、供給単価に対し給水原価が著しく高く料金回収率は平均より大幅に下回っている。平成30年度で経常収支比率が向上しているのは支出の翌年度繰越があったためであり、その要素を除けば収支比率は例年並みである。

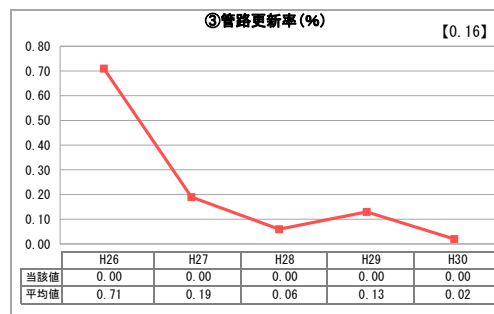
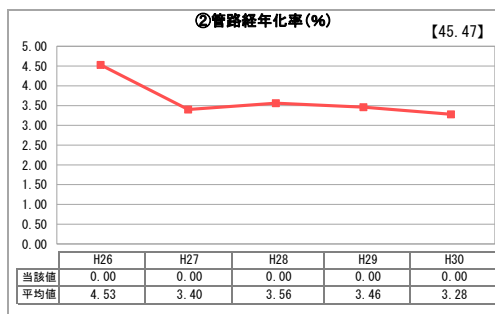
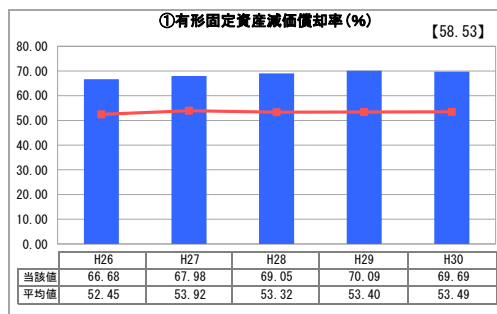
### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況について

本事業は平成6年4月に供給開始しており、有形固定資産の減価償却は平均を上回って進んでいるが、管路については耐用年数を経過しておらず管路経年比率・管路更新率の値は発生していない。耐用年数等から判断し適時施設・機械等の更新を行っているが、工業用水道の安定供給のため今後も引き続き計画的な更新を行う必要がある。

### 2. 老朽化の状況



### 全体総括

近年、本事業は契約率・契約水量の減少に伴い料金収入が減少し、経営は一層難しくなっている。工業用水道事業は企業誘致・雇用創出・地域経済振興において一定の役割を果たしてきており、引き続き企業誘致部署ほか関係部署との連携・調整を行い継続的・安定的な工業用水道供給に努める。